

サステナビリティ・リンク・ローン 2025 年度実績と 2031 年度目標 2031 年度 CO₂排出量 55.6%削減に向けて

アクアシステム株式会社では、2025 年 4 月にサステナビリティ・リンク・ローンを実行しました。CO₂ 排出量の削減をサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）として設定し、2021 年度を基準年度として、2031 年度まで継続的な削減に取り組んでいます。

2025 年度の実績 - 目標を上回る削減を達成

84 t-CO ₂ 2025 年度 CO ₂ 排出量	26.1%削減 2021 年度比 削減実績	23.8% → 達成 2025 年度 削減目標
---	--------------------------	----------------------------

2025 年度の CO₂排出量は 84 t-CO₂となり、2021 年度の 114 t-CO₂から 26.1%削減しました。
削減目標 23.8%を上回り、2025 年度の SPT を達成しています。

2025 年度の進捗ポイント 電気使用量は 2022 年度以降 4 年連続で削減しています。LED 化、作業動線の効率化、設備運用の見直し、高効率設備への更新など、日々の改善を積み重ねています。

2031 年度に向けた CO₂排出量削減ロードマップ

上段：CO₂排出量（t-CO₂） 下段：2021 年度比削減率

2021 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度
114 基準	93 18.8%	84 26.1%	81 29.1%	75 34.4%	69 39.7%	63 45.0%	57 50.3%	51 55.6%

※2026 年度以降は SPT の目標値です。2031 年度は 51 t-CO₂（2021 年度比 55.6%削減）を目標としています。

2025 年度の目標達成は、2031 年度に向けた一つの通過点です。 引き続き、設備改善、省エネルギー活動、再生可能エネルギーの活用を積み重ね、2031 年度の目標達成を目指します。

2031 年度の目標達成に向けた取り組み

これまでの主な取り組み	2031 年度に向けた今後の方針
● 工場内照明の LED 化 照明を順次 LED へ切り替え、省エネルギー化を推進。 ● 作業動線・設備運用の改善 生産ラインの効率化や設備稼働の平準化を継続。 ● 高効率設備への更新 老朽化設備を高効率機器へ更新し、電力消費を低減。 ● 太陽光発電設備の導入 2025 年 7 月から自家発電を開始。	● 生産効率と省エネの両立 生産性向上と電力使用量のさらなる削減を両立。 ● 再生可能エネルギーの活用 太陽光発電の効果を検証し、活用を拡大。 ● 設備の高効率化・電化 設備更新や電化を検討し、環境負荷を低減。 ● 海外拠点を含む CO₂管理 排出量の把握・管理体制を整え、SBT 認証取得も視野に。



工場屋根に設置した太陽光発電設備

2025 年度 実績 84 t-CO₂



2031 年度 目標 51 t-CO₂

2021 年度比 55.6%削減へ
一つひとつの改善を積み重ね、環境負荷の少ない企業経営を進めてまいります。